

## アサヒガニ

## こうらが長く、どっしり

アサヒガニはこうらが長く、後ろがすぼんだおもしろい形をしています。表面はたて長の小さいつぶでびっしりとおおわれ前の方にはとげがあります。

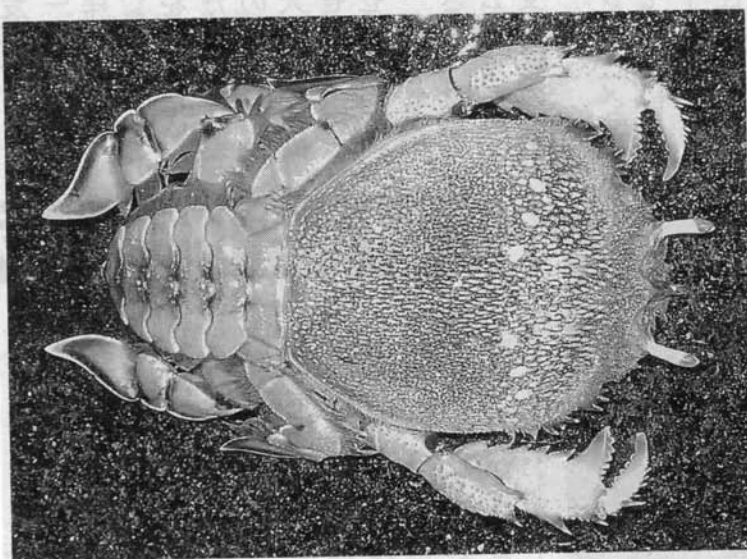
こうらから、はみ出しているのはおなかです。ほとんどのカニは、おなかをこうらの下にびったりと折りたたんでいますが、アサヒガニはこれができるんです。このようなカニは少ないですが、ほかにいます。

カニの脚は5対です。一番前がえさをつまんだりちぎったりするハサミ脚で、残りの4対は歩いたり泳いだりするのに使います。歩くのに使う脚は先がとがっていて、歩脚とよびます。泳ぐための脚は先が平らになっ

ていて、遊泳脚とよびます。

ほとんどのカニは4対の歩脚を持っていますが、ワタリガニの仲間は歩脚が3対で最後の1対が遊泳脚。アサヒガニの仲間は4対全部が遊泳脚です。多くのカニは横に歩きますが、中には前後に動けるカニもいます。アサヒガニも前後に動

アサヒガニ。今年8月26日に須崎市の魚市場で撮影(ホームページ「土佐の自然ギャラリー」提供)



けますが、前進は苦手。もつぱらバックで海底のすなの中にもぐります。こうらの長さが15センチにもなりますから、大きくてどっしりしています。つかまえるにはえさをかこに入れて海底にしずめます。

あたたかい海にすみ、南日本をめぐむ太平洋とインド洋に分布。土佐湾でもとれるおいしいカニで、皿鉢料理にも使われています。しかし、もともと数が少ないうえ最近ではあまりとれなくなつたため、日本産のアサヒガニはとても高価です。

お店で売られていることもありますが、ほとんどがオーストラリア産のようです。このカニに限りませんが、スーパーマーケットで魚かい類を見ると外国産の多さにおどろきます。なぜこんなに外国産が多いのか? 考えてみるのも大切なことではないでしょうか。

いきものがかり  
高知大学理学部教授

町田吉彦



土佐の動物